

報道関係者各位

こどもたちの作品がデジタルサイネージをジャックする！ 「街中“こどもテレビ”プロジェクトワークショップ」 開催のお知らせ

2011年7月19日
特定非営利活動法人CANVAS

こどもたちの創造・表現活動を推進する特定非営利活動法人CANVAS（以下、CANVAS）は、各企業と協働し、次世代を担うこどもたちを応援するワークショップ「街中“こどもテレビ”プロジェクト」を開催します。

ぜひ貴社媒体を通じて読者・視聴者の皆さんに、本ワークショップを広くお知らせいただきたく、また当日の取材につきましてもご検討くださいますようお願いします。

開催概要

日 時：平成23年8月5日（金）①10:00～12:30 ②13:30～16:00
場 所：東京大学本郷キャンパス 福武ホール（東京都文京区本郷7丁目3-1）

<http://fukutake.iii.u-tokyo.ac.jp/access.html>

参加者：小学生 各回30名程度

参加費：3,000円

[主 催]NPO法人CANVAS [共 催]株式会社デジタルえほん

[協 力]株式会社インセクト・マイクロエージェンシー、彩ネットアド株式会社

株式会社産業経済新聞社、株式会社スペースシャワーネットワーク、

株式会社ニュースペース・コム、株式会社ニューフォリア、

株式会社メディアコンテンツファクトリー、

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科

公式サイト **街中“こどもテレビ”プロジェクト** <http://www.canvas.ws/KDS/>

ワークショップの内容

本ワークショップでは、こどもたちが、「未来はこうなったらしいな！」、「大人へのメッセージ！」に関するアイディアやひらめきをイラストや写真を駆使して、作品にします。制作した作品は、各社の協力により、電車やバス・空港、コンビニ、医療機関、市役所などに設置されたサイネージ650面以上でOAされます。



ワークショップの流れ



デジタルサイネージとは？



テーマ決定



撮影



上映会



編集



イラスト制作

「街中 “こどもテレビ” プロジェクト」とは

こどもたちが「サイネージ」をジャックする！

街のコンビニで！電車で！病院で！・・・こどもたちの作品があちこちに溢れだす。

選挙権はないけども、大人にいいたいこともたくさんあるのかも！？

未来を担うこどもたちの力はスゴイ。きっと大人にはできない発想にあふれているはず。

そんなこどもたちが「サイネージ」をジャックしたら、街はどうなるだろう！？

大人は何を思うだろう！？

「デジタルサイネージ」とは？

屋外・店頭・公共空間・交通機関など、いろんな場所で、ディスプレイを使って情報を発信するシステムを総称して「デジタルサイネージ」と呼ばれています。ここではそれを略して「サイネージ」と呼んでいます。

私たちの身の回りには、すでに多くの場所で様々なディスプレイが設置され、広告に限らず様々な情報が提供されています。街頭の大型ビジョンや駅や空港、ショッピングモールはもちろん、エレベーターや小型店舗、大学、ホテル、病院などにもデジタルサイネージは急速に広まっています。街中“こどもテレビ”プロジェクトとは、そんなデジタルサイネージを「未来を担うこどもたちのキャンバスとして使おう！」という願いではじまったプロジェクトです。

ワークショップ当日には、デジタルサイネージのプロの方々がスペシャル講師として参加してくださいます。

本件に関する一般及び報道機関からのお問い合わせ先



遊びと学びのヒミツ基地

特定非営利活動法人 CANVAS

Tel : 03-5534-8088 FAX : 03-5534-8081

E-mail : press@canvas.ws

※ご取材頂く際は、事前にご連絡下さい